



# PRESS RELEASE

令和7年11月13日  
海上幕僚監部

(お知らせ)

## 日マレーシア共同訓練 (MALPAN) について

令和7年度インド太平洋方面派遣 (IPD25) 部隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて連携を強化すべく、次のとおりマレーシア海軍と共同訓練を実施しました。

### 1 目 的

- (1) 海上自衛隊の戦術技量の向上
- (2) マレーシア海軍との連携の強化

### 2 期 間

令和7年11月11日 (火)・11月12日 (水)  
(停泊フェーズ: 令和7年11月11日 (火))  
(洋上フェーズ: 令和7年11月12日 (水))

### 3 訓練海域

- (1) 停泊フェーズ  
コタキナバル港内
- (2) 洋上フェーズ  
南シナ海

### 4 参加部隊

- (1) 海上自衛隊: 護衛艦「あけぼの」(IPD25第4水上部隊)
- (2) マレーシア海軍: 哨戒艦「スランゴール」

### 5 訓練項目

- (1) 停泊フェーズ  
立入検査訓練
- (2) 洋上フェーズ  
洋上移送訓練、戦術運動、PHOTOEX

### 6 その他

- (1) 令和7年11月9日 (日) から11月12日 (水) の間、護衛艦「あけぼの」は、マレーシアのコタキナバル港に寄港しました。
- (2) コタキナバル寄港中、「あけぼの」乗員は、政府安全保障能力強化支援 (OSA) で日本が供与した警戒監視用無人航空機 (UAV) を見学するとともにマレーシア海軍とのUAVの運用に関する意見交換を実施しました。



立入検査訓練



戦術運動



左から「スランゴール」、「あけぼの」



OSAで供与したUAVを見学する海自隊員